沖縄市　地域子育て支援拠点事業
子育て支援センターたんぽぽ広場
令和４年度　事業報告

１．総括

(1)　事業目的

現在、少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化している。この点、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする（地域子育て支援拠点事業実施要項　事業の目的)。

(2)　概要

実施主体	社会福祉法人　共同福祉会　たんぽぽ保育園
場所	沖縄県沖縄市登川 1-33-3
実施形態	一般型（たんぽぽ保育園・保育所併設型）
設立年月	平成 12 年 4 月 1 日
事業内容	①基本事業 ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・子育て等に関する相談、援助の実施 ・地域の子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施(月 1 回以上) ②地域支援 ・高齢者・地域学生等地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取組 ・地域の団体と協働して伝統文化や習慣・行事を実施し、親子の育ちを継続的に支援する取組 ・地域ボランティアの育成、町内会、子育てサークルとの協働による地域団体の活性化等地域の子育て資源の発掘・育成を継続的に行う取組
開所日数等	月曜日～土曜日（週 6 日） ①月～金　9:45～12:30　場所開放・利用者活動支援 ②月～土　9:45～16:00　子育て相談対応（来所）

(3)　令和４年度の概況

①　概況

〔新型コロナ感染拡大の影響〕

令和４年度も引き続き、新型コロナウイルスの感染状況の影響を強く受けた。

４月及び５月の活動は、出張広場・あかぎの杜(沖縄市知花／ギャラリーあかぎの杜)での活動となった。

〔活動場所〕

令和３年から引き続き、令和４年度も、保育園の新園舎ではなく、出張ひろば・あかぎの杜（沖縄市知花）での活動でスタートした。

理由としては、保育園舎内で支援センター活動を行った場合、園児と支援センター利用児との接触による感染リスクが生じることから、双方の接触を避けることによる感染防止を目的として、出張ひろばでの活動を行った。

５月末頃から県内の感染状況が落ち着いてきたことから、支援センターを出張広場から保育園に場所を戻すための準備を開始した。

具体的には、園児と支援センター利用者との接触による感染リスクを減らすための活動場所の住み分けや、利用者の動線をシュミレーションするなど、細かな環境設定を行った。

あかぎの杜から完全に引っ越しをし、６月６日より園舎内での活動開始となった。子育て支援センター室を拠点とし、園舎内ホールや園庭を活用した活動となった。

〔活動休止期間〕

８月１日(月)～８月５日(金)の間、沖縄県全体での感染者拡大の状況をふまえ、市役所と協議の上、支援センターの活動を休止した。

＊特記　沖縄医療非常事態宣言　2022 年 7 月 21 日～2022 年 9 月 29 日
　　BA.5 対策強化地域

③　事前予約制、利用人数の制限

〔事前予約制〕

利用者の人数及び年齢の把握を行うため、事前予約制を取った。これにより、利用者の年齢に合わせた活動計画を立てることが容易になった。

予約は利用の際に行う他、公式ライン、電話などで受け付けた。

〔利用人数の制限〕

利用については、感染拡大防止のため、活動を密にしないように、利用人数の制限を設けて行った。感染状況を見ながら、利用人数制限を少しずつ緩和していった。

	令和 4 年 4 月～	7 月～	9 月～	11 月～	令和 5 年 4 月～
利用人数	制限なし	申込先着 3 組まで	申込先着 5 組まで	申込先着 8 組程度	申込先着 10 組程度
新規登録	あり	なし	あり	あり	あり

④　公式ライン

昨年より運用開始している公式ラインを活用し、行事のお知らせなどを一斉配信の他、利用者との相互のコミュニケーションを行った。

〔公式ライン　お友だち登録者数〕
193 名（令和 5 年 3 月 31 日現在）
参考　令和 3 年度末登録者　117 名（前年度比 76 名増加）

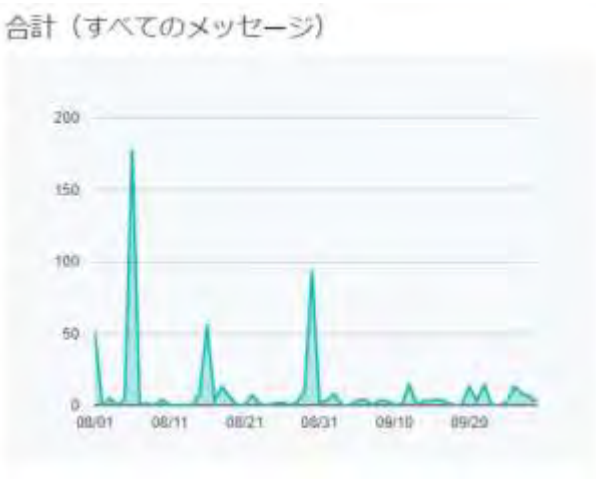
〔公式ライン　メッセージ利用分析〕

下記は利用者とのチャットのやり取り（メッセージ合計・一斉配信含む）をグラフ表示したのが下記である。

毎日、コンスタントに利用者とのやり取りがあることが分かる。

令和 4 年 4 月～5 月

令和 4 年 6 月～7 月



令和 4 年 8 月～9 月

令和 4 年 10 月～11 月

令和 4 年 12 月～1 月

令和 5 年 2 月～3 月

(4)　利用者概況

新型コロナウイルス感染症の感染予防のために行った利用制限の影響で、1 日の利用者数(組数)は 2～3 組と減少した。

利用者の内容としては、育児休業中の利用者が多く、特に、1 歳前後の乳児の割合が多い。利用児の年齢は、生後 2 か月の乳児から 4 歳児頃と年齢幅が見られた。

利用者のニーズは、「たくさん外遊びをさせたい」「他のお子さんと遊ばせたい」「日中は子どもと二人きりなので、大人とおしゃべりしたい」等、これまでの利用者ニーズと同様であったが、特にコロナ禍でのストレスを軽減する目的も多かったように見受け

られた。

利用の意義としては、場の提供による遊びや利用者の情報収集だけでなく、利用者同士のコミュニケーション（子ども同士・親同士の交流）によるストレスの軽減、担当者と話すことによる子育て不安感・閉塞感の軽減につながっていると考えている。

(5)　家庭訪問支援事業

特に支援すべき案件について、継続的な支援を行うべく、利用者の家庭を訪問する支援事業の実施を検討したが、今年は支援案件がなかった。

(6)　職員体制

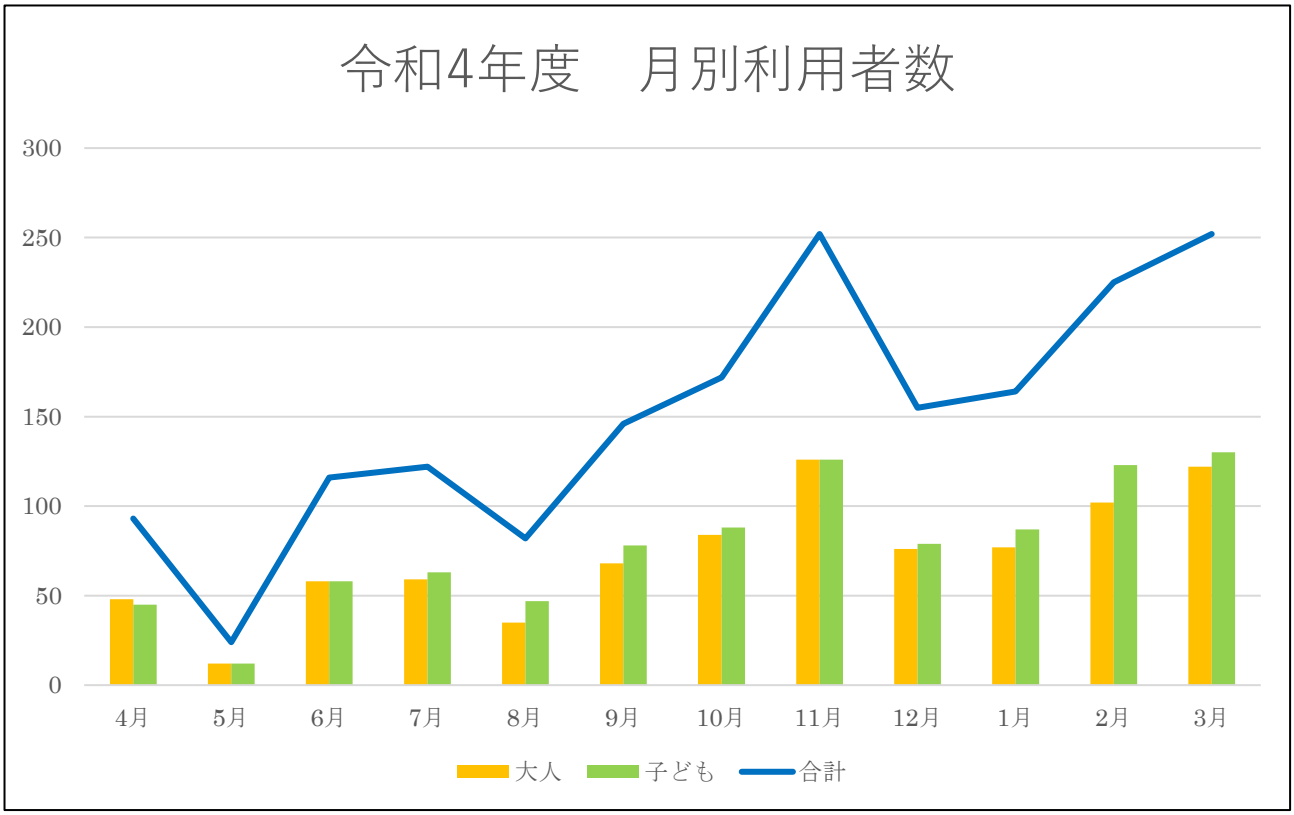
・担当職員：非常勤２名(月～金)
・そ の 他：嘱託職員４名(島くとぅば１名週１回　サークル支援３名)
※サークル活動が行えず、令和４年度はサークル支援は運用なし

(7)　利用者概況

①　月別利用者数

月別	大人	子ども	合計
4 月	48	45	93
5 月	12	12	24
6 月	58	58	116
7 月	59	63	122
8 月	35	47	82
9 月	68	78	146
10 月	84	88	172
11 月	126	126	252
12 月	76	79	155
1 月	77	87	164
2 月	102	123	225
3 月	122	130	252
年間合計	867	936	1,803
月　平　均	72.25	78	150.25

月別の利用者数は、コロナの感染拡大期である 5 月頃、8 月頃に利用減少が見られた。
11 月は運動会があったため、積極的な利用が見られた。
12 月～1 月は帰省時期であり、利用控えが見られた。
育休復帰に向けて、プレ保育としての位置づけから、2 月～3 月の利用増加が見られた。



②　地域別利用者数

沖　縄　市　内	大　人	子ども	合　計	沖　縄　市　外	大　人	子ども	合　計
登川	153	157	310	うるま市	176	171	347
美里仲原町	64	123	187	読谷村	5	7	12
泡瀬	120	114	234	北谷町	2	2	4
美里	67	66	133	嘉手納町	1	1	2
知花	68	64	132	市　外　合　計	184	181	365
越来	41	41	82				
南桃原	20	20	40	米軍基地内	26	51	77
古謝	16	16	32				
東	17	15	32				
海邦	11	13	24				
高原	12	12	24				
比屋根	12	10	22				
池原	10	10	20				
上地	8	8	16				
古謝津嘉山町	6	8	14				
美原	8	8	16				
安慶田	11	6	17				
桃原	4	6	10				
宮里	6	5	11				
山里	1	1	2				
諸見里	2	1	3	総　合　計	大　人	子ども	合　計
市　内　合　計	657	704	1,361		867	936	1,803

支援センターの所在地、登川の地域の利用者が最も多い。次いで、うるま市からの利用も多かった。米軍基地内からの利用も多かった。

③　地域別登録者数

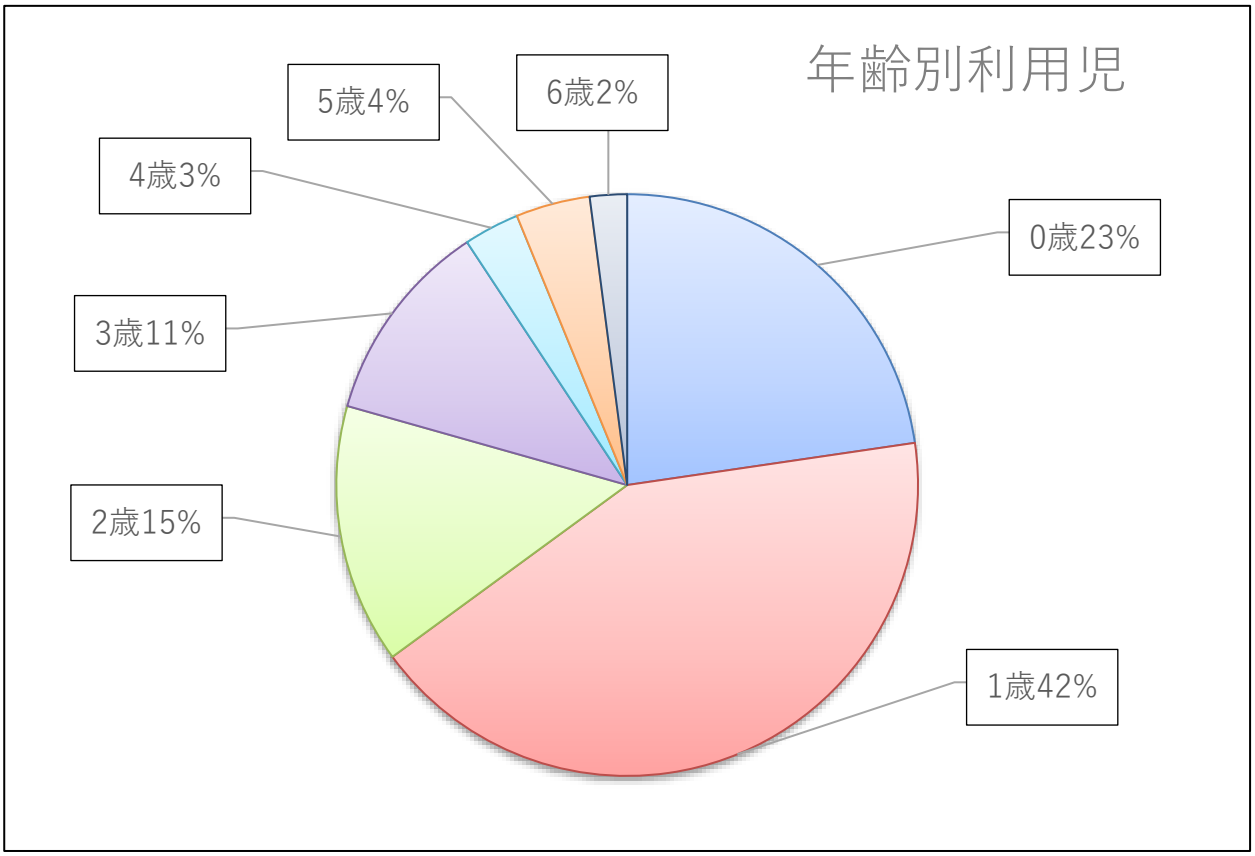
沖　縄　市　内	合　計	沖　縄　市　外	合　計
登川	14	うるま市	11
知花	9	中頭郡読谷村	2
美里	4	中頭郡北谷町	1
泡瀬	3	中頭郡嘉手納町	1
美原	3	浦添市	1
越来	3	市　外　合　計	16
古謝津嘉山町	2		
桃原	2	米軍基地内	1
比屋根	2		
美里仲原町	2		
諸見里	2		
高原	2		
上地	1		
南桃原	1		
古謝	1		
安慶田	1		
宮里	1		
山里	1		
明道	1		
東	1		
池原	1		
海邦	1	総　合　計	合　計
市　内　合　計	58		75

例年 150 名程度の登録者であるが、令和 4 年度は新型コロナの感染拡大の影響もあり、半減している。支援センター所在地である登川地域と、うるま市の利用登録が最も多かった。

④　年齢別・利用児登録者数(令和 5 年 3 月 31 日時点)

年齢	人数	割 合
0 歳	22	23%
1 歳	41	42%
2 歳	14	14%
3 歳	11	11%
4 歳	3	3%
5 歳	4	4%
6 歳	2	2%
合計	97	100%

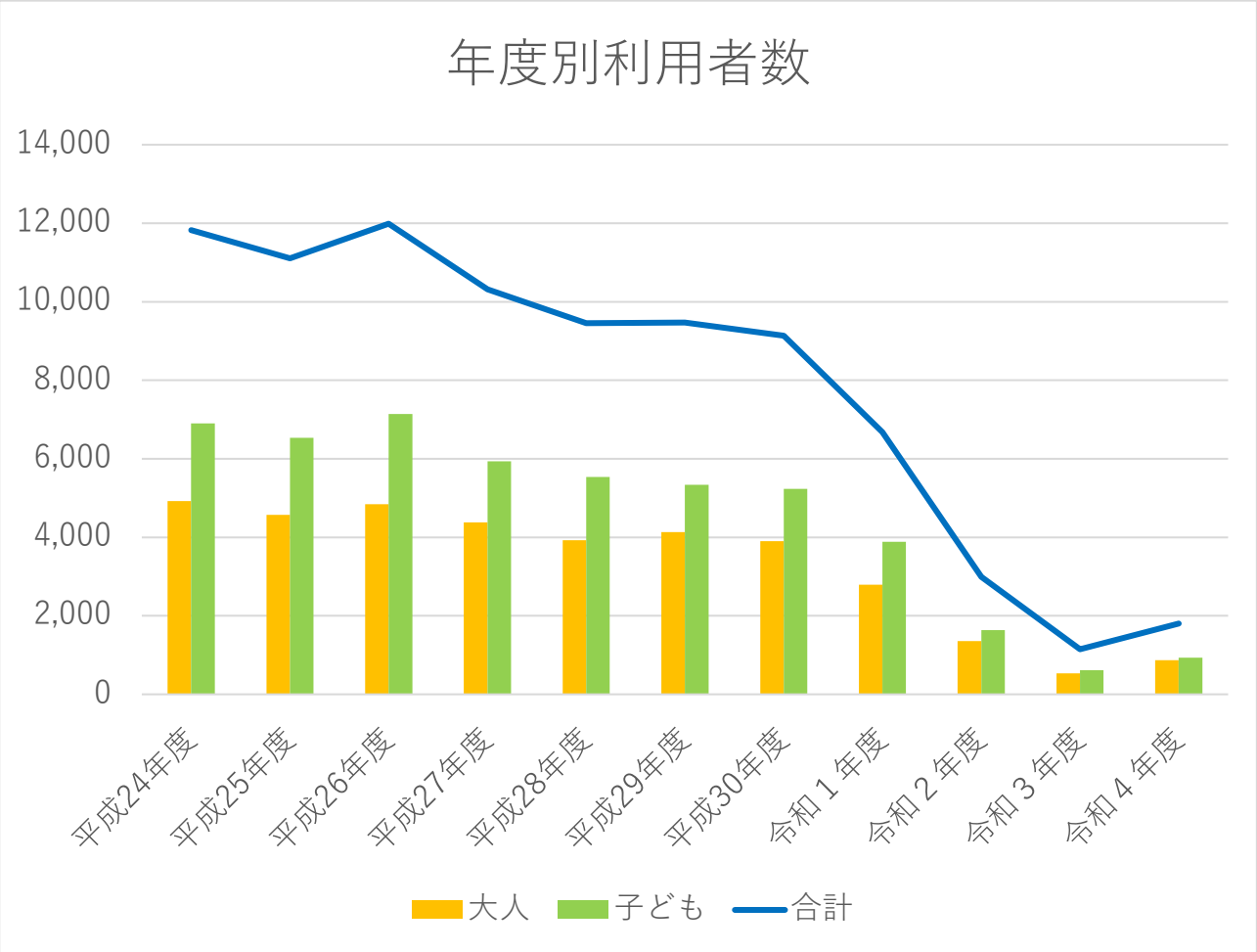
育休復帰前の利用が多く、0 歳と 1 歳児の利用で 6 割を占めている。



⑤　年度別利用者数

年　度　別	大 人	子ども	合　計
平成 24 年度	4,920	6,904	11,824
平成 25 年度	4,571	6,534	11,105
平成 26 年度	4,845	7,142	11,987
平成 27 年度	4,382	5,933	10,315
平成 28 年度	3,923	5,534	9,457
平成 29 年度	4,132	5,336	9,468
平成 30 年度	3,900	5,237	9,137
令和 1 年度	2,788	3,888	6,676
令和 2 年度	1,358	1,636	2,994
令和 3 年度	536	612	1,148
令和 4 年度	867	936	1,803

令和 2 年度から始まった新型コロナの影響によって、利用者数の減少が見られたが、令和 4 年度にわずかに回復した。



２．事業内容

(1) 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

①　概要

当センターでは、“園児もセンター利用児も、同じ環境で過ごせるように”という趣旨から、保育園との併設型の事業を実施している。

支援センター利用者（親子）と保育園園児（及び保護者）、保育所職員（保育士、調理員、用務員、その他保育所職員）とがいつでも交流することができる場の提供を行っている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、保育園との交流は実現しなかった。

②　利用形態

（ｉ）利用頻度

① 毎日利用者、②隔日利用者、③単発的利用者（旅行者・里帰り）等、である。

利用頻度としては、①毎日利用者、が多く占めている。

（ⅱ）利用者構成

利用構成としては、①母子、②父子、③両親及び子、④祖母及び子、⑤親戚及び子、⑤知人及び子、等である。

利用者構成として①母子、が多く占めている。

③　内容

（ｉ）外遊び・異年齢交流

利用児は、晴天時等に他児とともに園庭での外遊びを楽しむ。

乳児の場合はマットの上で外気浴等をし、年齢が高くなると砂場や泥んこ遊び、その他固定遊具で遊ぶ。

（ⅱ）室内遊び・異年齢交流

利用児は、雨天時等、子育て支援スペースや保育園ホールにて、ままごとや新聞紙遊び、折り紙、ブロック等の室内遊びをする。

保育園がリズムあそび実施する際には保育室やホールで、園児と一緒にリズムあそびを楽しむ。

（ⅲ）保育園体験：合同行事への参加・単独行事

当センターでは、保育園行事との合同行事を毎週･毎月･毎年定期的に実施している。また、当センター単独行事も定期的に実施している。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、合同行事は断念、単独行事のみの実施となった。

④　実施行事一覧

<table>
<tr><th>実施日時等</th><th colspan="2">実施内容</th></tr>
<tr><td>毎週実施</td><td colspan="2">単独行事：たんぽぽばあちゃんと遊ぼう[毎週１回]
リフレッシュサークルｈａ★ｓｈ！(ハッシュ)[毎週１回]
水遊び[7 月のみ　毎週１回]</td></tr>
<tr><td>毎月実施</td><td colspan="2">単独行事：お誕生会[毎月１回]
単独行事：つくーるさーくる　くるくる[毎月１回]</td></tr>
<tr><td>その他実施</td><td colspan="2">単独行事：子育て講座
公認心理師による子育て相談[毎月１回](予約制)</td></tr>
<tr><td>4 月</td><td>22 日</td><td>(単独行事)　こいのぼり飾り製作</td></tr>
<tr><td>6 月</td><td>17 日</td><td>(単独行事)　遠足(美東公園) ※当日キャンセルで実施なし</td></tr>
<tr><td>6 月</td><td>22 日</td><td>(単独行事)　七夕飾り製作</td></tr>
<tr><td>8 月</td><td colspan="2">24-26 日、9 月 1-2 日　(単独行事)　敬老の日プレゼント製作</td></tr>
<tr><td>9 月</td><td>22 日</td><td>(単独行事)　秋の遠足(八重島公園)</td></tr>
<tr><td>11 月</td><td>9 日</td><td>(単独行事)　運動会</td></tr>
<tr><td>12 月</td><td>2 日</td><td>(単独行事)　クリスマス飾り製作</td></tr>
<tr><td>2 月</td><td>17 日</td><td>(単独行事)　ひなまつり飾り製作</td></tr>
<tr><td>3 月</td><td>13 日
20 日</td><td>(単独行事)　お別れ遠足(うまんちゅ健康文化交流広場)
(単独行事)　お母さんを励ます会＆卒園式</td></tr>
</table>

◎今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、合同行事は断念、単独行事のみの実施となった。

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施

① 概要

子育て相談は、親や養育者などに対して、育児に関する不安や相談について助言を行うものである。

相談方法としては、面談（担当者、その他職員）、電話、インターネット（公式ラインのチャット）、公認心理師への相談（月一回の巡回）、などである。

事例によっては、他の機関等（沖縄市保育・幼稚園課・子ども健康相談課、児童相談所、福祉事務所、保健師、発達専門の母子通園施設、ファミリーサポートセンター等）との連携を行う。

② 相談概況

食事についての相談が最も多かった。離乳食では、食べる量や硬さ、形状について、実際の保育園の給食の様子を見てもらい説明した。

また、偏食がある、食事中動き回るなどの子どもへの対応について、その親子が取り組みやすい方法での対応を考え、提案した。

育児記録についての相談は、記録も大事であるが、今の子どもの様子から予想していくことも大切であるということをお伝えした。

育児不安を訴えておられた方については、何に困っているのか、ご自身はどうされたいか等を担当者が丁寧にヒアリングしていく中で、相談者自身、気持ちの整理がついたようであった。支援者として、受容的態度で、じっくり傾聴することで、利用者自身の持つ、解決する力（エンパワーメント）を導くことができたようだった。

保育園入園の書類記入に困っている要配慮の利用者がおり、記入のサポートと役所での相談支援につなげた。

育児相談電話では、泣きながら窮状を訴え、疲弊された様子であったことから、急遽、来所による受け入れをし、話を聞く等の対応をした。その他行政機関等と連携が取られていることが確認でき、経過を見守った。

③　相談内容（情報提供、問い合わせ件数も含む）

相談対象	相談内容	件数
子ども	食事(ミルク、断乳等も含む)	23
	排泄（トイレトレーニングなど）	7
	身体,健康,発達について	13
	情緒	12
	社会性	1
	言葉	4
	生活習慣・生活リズム・睡眠	14
	健康	1
	子どもの遊びについて	2
おとな	大人の人間関係（夫婦間の育児方針の違い）	2
	大人の健康(うつ病も含む)	1
	仕事復帰・就職	5
	育児不安・心の不安（子どもとの向き合い方含）	6
	家庭背景	4
その他	保育園さがし	6
	就園について（不安・相談等・一時保育含む）	9
	他園・他施設、役所苦情	2
	情報提供、問い合わせ	1
	その他	5
相談数合計		118

相談は、これまで日誌から拾い上げて集計していたが、令和 4 年度より、サイボウズのクラウドサービス「kintone」による集計を行った。

子どもに関しての相談は、食事や生活習慣などの生活面と、身体発達や情緒などの発達面の相談が多かった。

おとなに関しての相談は、育児不安の相談が多かった。コロナ禍で特に孤独に子育てに向かっている家庭の不安が見られた。

(3) 地域の子育て関連情報の提供

① 概要

当センターでは、支援センターだよりの配布やホームページの公開等を通して、地域の子育て関連情報を提供している。

② 内容

（ⅰ）支援センターだよりの発行・配布

内容	先月の活動報告、利用者のメッセージ、絵本の紹介、子育てコラム、活動予定表等の掲載、子育て支援機関の紹介、その他
発行日	毎月１日発行
発行部数	平均 750 枚（年間発行数 9,000 部）
配布先	役所（保育・幼稚園課、生涯学習課、市民健康課、総務課、就労支援センター）・保育園関係（沖縄市内の認可保育園・公立保育所、児童館、児童センター）・福祉関係（母子会、保健センター、保健所、ファミリーサポートセンター）・病院（メンタルクリニック、小児科）・公的機関（こどもの国、市立図書館、中央公民館）・店舗（コープ美里、コープ山内）・会議及び会合（自治会長、児童民生委員）・その他（保育園の保護者、当センター利用者）等
郵送先	保育園関係（県内外の保育園、子育て支援センター）・病院（小児科、耳鼻科）・福祉関係（児童相談所、児童園、社会福祉協議会、小児発達センター）・文化関係（くすぬち平和文化館）・メディア機関（NHK、ＦＭコザ、沖縄タイムス、琉球新報）・教育機関（沖縄女子短大、キリスト教短期大学）、等　131 か所送付

（ⅱ）ホームページによる情報提供

https://www.okinawa-tanpopo.com/support.php

（ⅲ）事業報告書の作成・配布

毎事業年度後に事業報告書を作成し、諸機関に配布をしている。

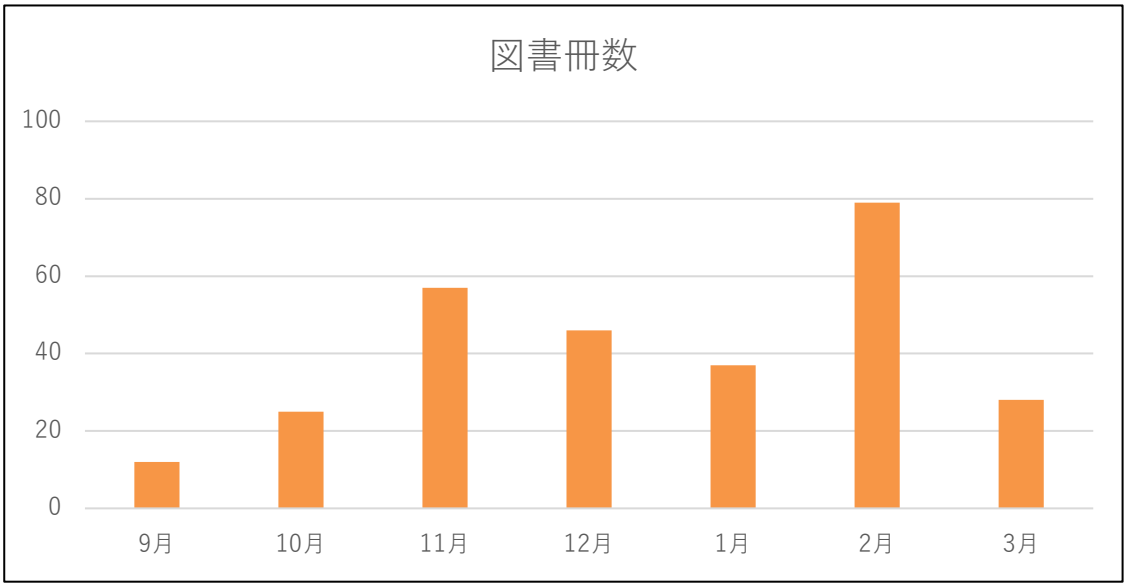
（ⅳ）文集作りの作成・配布

毎事業年度後に利用者の思い出の文集作りを作成し、発行、利用者に配布をしている。文集作成の支援（子育て講座）については後記。

（ⅳ）図書貸出

支援センター登録利用者は、毎日、大人 2 冊、子ども 2 冊の保育園の書籍を借りることができる。書籍は蔵書 2440 冊。令和 4 年度 9 月から図書の貸出を開始した。

令和 4 年度は、毎日のように貸出返却があり、2 月で月 70 冊を超えている。



(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

① 概要

当センターでは下記の子育てに関する講座を実施している。

② 内容

（ｉ）子育て講座

毎月１回を目安に子育てに関する講座を実施している。季節・行事に関する製作講座の他、健康講座や食育講座がある。

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、感染予防を行いながら規模を縮小して実施した。

月	日	子育て講座の実施内容	参加人数		
			大　人	子ども	合　計
4 月	22 日	こいのぼり飾り製作講座	5	5	10
6 月	22 日	七夕飾り作り製作	8	8	16
8 月 9 月	24-26 日 1-2 日	敬老の日プレゼント製作	7	8	15
12 月	2 日	クリスマス飾り製作	5	6	11
2 月	17 日	ひなまつり飾り製作	8	9	17
2 月	22 日	ストレッチ・コアトレーニング健康講座	8	10	18
合　計		実施回数　5 回	41	46	87

（ｉ）文集の作成支援講座

一年間の支援センターでの活動や子どもの育ちや成長を振り返り、利用者それぞれの子育ての大変さや楽しさ、喜びを利用者同士で共感しあうための機会作りとして、毎年度末、支援センター文集を作成・発行している。

講座としては、個別で原稿のレイアウトや内容などのアドバイス・支援を行い、参加者全員がそれぞれの原稿（各利用者１世帯につきＡ４用紙１枚）を完成できるように支援する。

〔内容〕

募集した原稿、年間の活動写真、発行済の１年間のセンター便り、担当者の声（振り返り）等

〔年間スケジュール〕

１月　原稿募集開始
３月　原稿募集締め切り
５月　校正・編集
６月　印刷会社による製本
７月　送付（原稿作成した全員に文集を送付）

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、来所機会そのものが減ったために、参加者の減少があった。

(5) 地域支援

地域全体で子どもの育ち・親の育ちを支援するため、地域支援に取り組む。

①伝統文化・島くとぅば・昔遊びの継承活動（たんぽぽばあちゃん）

（ｉ） 概要

当支援センターでは、しまくとぅば指導者（通称たんぽぽばあちゃん）を招致し、平成 25 年 9 月より、毎週 1 回（水曜日）、支援センター利用者に対し、島くとぅば指導の地域支援を継続的に実施している。

（ⅱ） 内容

しまくとぅば指導者（通称たんぽぽばあちゃん）は、支援センター利用者に対し、島くとぅばを使ったわらべ歌や昔遊び、紙芝居などに継続的に触れる機会を設け、島くとぅばや沖縄の郷土文化・歴史の学び、島くとぅばの次世代への継承の機会を創出している。

《しまくとぅば講師紹介》
通称　たんぽぽばあちゃん。保育士歴 40 年、沖縄市の認可外保育所元園長。2012 年より沖縄市銀天街のコザ銀天大学の島くとぅば体験寺子屋講座「おばあちゃんとあそぼう」講師。平成 25 年 9 月より、しまくとぅば・昔遊び指導担当（非常勤）。

②　地域学生ボランティア・実習生の受入れによる子育て資源の育成

ぐしかわ看護専門学校及び沖縄県立看護大学校より、臨地実習として、看護実習生を一年間受け入れた。

受け入れ日	ぐしかわ看護専門学校	沖縄県立看護大学校	受入人数
6 月 22 日	2 人		2 人
7 月 14 日	2 人		2 人
8 月 17 日		2 人	2 人
8 月 18 日		2 人	2 人
8 月 19 日		2 人	2 人
9 月 9 日	2 人		2 人
10 月 13 日		2 人	2 人
11 月 2 日		2 人	2 人
合計	6 人	10 人	16 人

(6) 子育てサークル等の育成・支援

①　概要

子育てサークルは、利用者の子育て負担やストレスを軽減、リフレッシュする目的で作られた、子育て利用者による自主的活動である。当センターでは、利用者のサークル活動が円滑に進むように、担当者が様々な援助を行っている。

②　内容

（ｉ） つくーるさーくるくるくる（2012 年 5 月～現在まで）

内容：毎回異なるテーマに沿って親子（もしくは母のみ）で体験する活動。
活動日：毎月第 3 土曜日（原則）
活動場所：たんぽぽ保育園

令和４年度は、新型コロナウイルス感染拡大の感染予防のため、実施しなかった。

（ⅱ） リフレッシュサークル ha★sh!

内容：身体を動かしてリフレッシュする。担当者が指導を行う。

活動日：毎週火曜日

活動場所：沖縄市古謝（ダンススタジオ）

備考：NPO こどもリソースセンターおきなわの協力による託児を行う。

令和４年度は、新型コロナウイルス感染拡大の感染予防のため、実施しなかった。

(7) その他

〔支援センター担当職員の研修参加状況〕

支援センター連絡協議会への参加は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Zoom を使用したオンライン会議となった。

資料　行事の内容、感想の記録

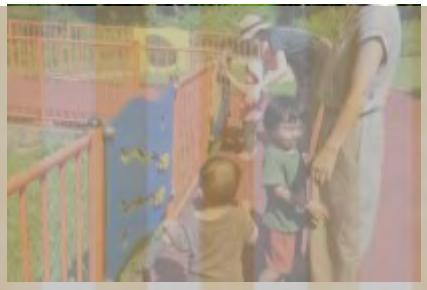
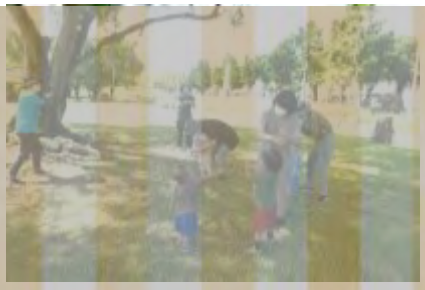
実施日	毎週水曜日
タイトル及び内容	『たんぽぽばあちゃんとあそぼう』 しまくとぅばを通して沖縄の昔あそび、わらべ歌、紙芝居など知り、沖縄の伝統文化を学ぶ。（４月～９月までは感染状況に応じて途中休止期間あり。10 月から保育園園舎にて週１回の活動再開）

実施日	４月 22 日（金）9：45～　参加者　大人（４）名　子ども（４）名
タイトル及び内容	『こいのぼりづくり』 親子でオリジナルのこいのぼりづくりを楽しむ。
感想	・ゆったりとした中で無理なく参加できたのでよかったです。何度もこいのぼりに目を向ける姿があったので、息子なりに楽しんでいることが分かり私もうれしく参加できました。 ・初めての親子製作で全部とまではいきませんでしたが、目をぺったん貼り紙をびりびりしたりと娘も参加できて楽しむことができました。

実施日	6月22日（火）9：45～　大人（8）名　子ども（8）名
タイトル 及び内容	『七夕飾りづくり』 親子で一緒に手作りの七夕飾りづくりを楽しんだ。
感想	・１歳の子でも参加できる内容があったので、一緒に無理なく作ることができました。 ・季節を感じられる遊びを子どもと一緒にできて良かったです。 ・初めて製作をしてみて園では集中できず、家に帰ってから作らせていただきました。かわいいキットを用意していただきありがとうございました。 ・大人の感性と子どもの感性は全く違うなと思いながら自由に作ってもらった。ほとんど手伝わず一人で仕上げられました。 ・持ち帰って製作しました。大人も子どもも簡単に作れてかわいくて大満足です。

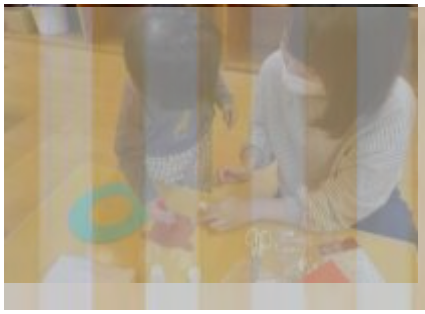
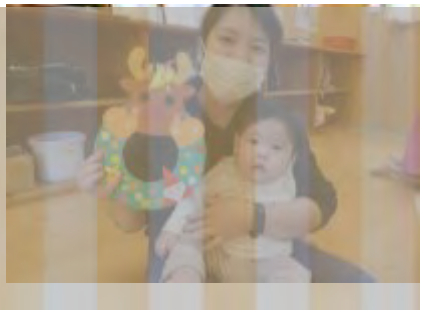
実施日	9 月 1.2 日（木・金）　大人（3）名　子ども（3）名
タイトル 及び内容	『敬老の日にむけてプレゼントづくり』 親子でオリジナルの祖父母へのプレゼント作りを行う。
感想	・とても可愛いクラフトでじぃじ＆ばぁばの喜ぶ姿を想像して作りました。とても細やかな準備と製作当日も先生が分かりやすく教えてくださったのでわかりやすかったです。 ・おじいちゃん、おばあちゃんがとても喜んでくれると思います。素敵なプレゼントができてうれしいです。 ・家では手形をとるのはなかなか難しいのでそれをプレゼント製作に取り入れて下さり嬉しかったです。 ・製作はとても簡単で親子で楽しく作ることができました。

実施日	9 月 22 日（木）１０時出発　参加者大人（4）名　子ども（5）名
タイトル 及び内容	『遠足』沖縄市：八重島公園 親子で体を動かしたり、体操やダンスをしたり遊具で遊んだりと楽しく過ごせた。
感想	・初めての難しい遊具も挑戦して何回もやっているうちに上手になったりを見れたり良かったです。 ・遠足当日は予想外に暑くて大変でしたが、親子で楽しませていただきました。 普段公園には親子で行くことが多いのですが、今回はお友達も一緒ということでいつも以上に楽しそうな息子を見て参加してよかったと思いました。

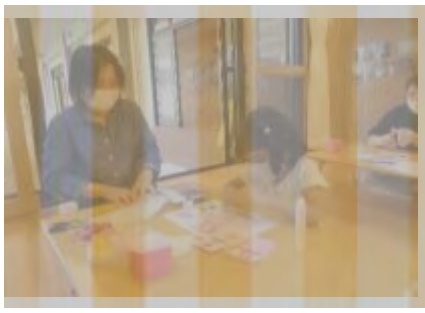
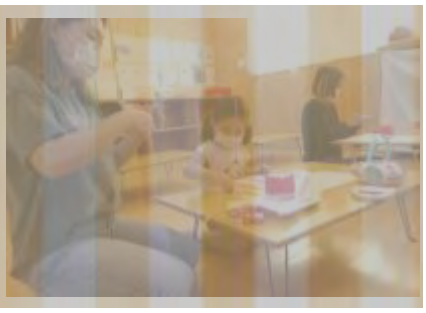



実施日	11 月 9 日（水）9：45～　参加者　大人（16）名　子ども（11）名
タイトル 及び内容	『うんどうかい』たんぽぽ保育園　園庭 親子で楽しく体を動かしながら様々な競技に取り組む
感想	・保育園に通っていないので運動会を経験できるなんて思ってもみませんでした。初めての運動会、砂場で遊びたい、あそこに行きたいと言うのかなぁ、どのくらい参加できるかなと思っていましたが、想像以上に笑顔で楽しそうにする姿が見れてとてもうれしかったです。私も一緒にはしゃいでいました。 ・今日は親子で楽しい時間を過ごせたと思います。ありがとうございました。 ・初めての運動会、子どもたちの楽しそうな顔、泣いた顔などとても素敵な時間でした。まだ保育園にはいってないのでこのような行事はとても嬉しいです。 ・種目も親も参加型で一緒に楽しめました。娘の初めての運動会、喜びと感動ですごくいい思い出になりました。 ・体を動かすプログラムが沢山あってすごく刺激になりました。手作りのメダルすごいです。嬉しい～！ ・ひとりでかけっこを頑張ろうとしている姿、成長を感じる場面がたくさんありました。とてもいい経験になりました。

実施日	12 月 2 日（金）9：45～　参加者　大人（５）名　子ども（５）名
タイトル 及び内容	『クリスマス飾りづくり』 身近な材料を使って可愛いクリスマスの飾りづくりを楽しむ。
感想	・おうちで息子とも一緒に作ることができてとても楽しめました。季節を感じる製作を体験でき、それを飾って楽しんで喜んでいます。 ・前回の製作よりも息子が集中してできていたことに驚きました。成長を感じて嬉しかったです。 ・クリスマスの飾りを作りたいと思っていましたが、家ではなかなかできなかったので良い機会でした。 ・折り紙の★を作るのが難しかったのですが、マスターできたら息子にも将来自慢できそうなので家で練習してみようと思います。

実施日	2 月 17 日（金）9：45～　参加者　大人（８）名　子ども（10）名
タイトル及び内容	『ひなかざりづくり』 親子で工夫してオリジナルの雛飾りづくりを行う。
感想	・かわいくできました。 ・途中まで作ってもらっていたので少しの時間で仕上げることができました。 ・簡単でかわいくできる製作で子どもも一緒に楽しく作ることができました。持って帰ってパパに見せるのが楽しみです。 ・上手にシールを貼ったり絵を書いたりしてのりを使って紙を貼ったりと成長を感じました。

実施日	2 月 22 日（水）9：45～　参加者　大人（６）名　子ども（７）名
タイトル及び内容	健康講座『ストレッチ＆コアトレーニング』 日頃、子育てや育児で頑張っているお母さんたちのための講座、リフレッシュと健康づくりのための運動を行う。
感想	・久しぶりに体を動かしてすっきりしました。姿勢もよくなった気がします。子どもと離れて集中できる時間もまたリフレッシュになりました。 ・普段やらないストレッチで体がほぐれました。 ・普段、動画を見ながら筋トレやストレッチをやっていますが、ちゃんとした姿勢でできているかわからなかったのでしっかり触って、どこが伸びているのかなどを教えてもらえて良かったです。定期的にやってほしいと思いました。次は正しい姿勢での歩き方を教えてほしいです。 ・自分ではなかなかできないストレッチを教えてもらい、自分の体の硬さにびっくりしました。少しずつ取り入れ自分のリフレッシュできるようにします。 ・あちこち伸びた気がします。気分もリフレッシュ！ぜひ hash（サーク

	ル）も再開してほしいです。

実施日	3 月 9 日（木）10 時出発　参加者　大人（6）名　子ども（6）名
タイトル及び内容	『お別れ遠足』うるま市：うまんちゅ健康文化交流広場 親子でレクレーションを楽しんだり、公園内を散策したりと楽しい時間を過ごす。
感想	・家から近いのに行ったことがなかったのでいい機会でした。お友達と一緒で遊んでいたので刺激をもらえて良かったです。 ・初めての公園でした。大変気に入っている様子で嬉しかったです。素敵な思い出ができました。 ・楽しかったです。かけっこやつなひきも楽しめました。駐車場も用意してもらって安心でした。QR コードや地図もわかりやすかったです。

実施日	3 月 20 日（月）9：45～参加者　大人（10）名　子ども（10）名
タイトル及び内容	『卒園式＆お母さんを励ます会』 4 月の幼稚園入園を控える子ども達の卒園式を行う。又仕事復帰等でたんぽぽ広場を卒園する親子も一緒に応援しようという企画。今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に務め、参加人数を絞り支援センターの部屋で行った。保育園児と同じ卒園証書を受け取り、将来の夢を一人一人語るこどもたちの姿は感動的だった。卒園式最後に卒園生のお母さんたちからこれまでの子育てを振り返り思い出を話してもらい、みんなでエールを送った。お母さんの似顔絵を描いたプレゼントを卒園生からお母さんへ感謝の言葉と共に手渡した。たんぽぽばあちゃんのお祝いの言葉や 4 月から保育園入園や仕事復帰のお母さん方の紹介も行った。子育ての思いを共有し、互いの絆を再確認できた素敵な式となった。

実施日	参加者　大人（14）名　子ども（16）名
タイトル及び内容	『文集づくり』 一年間の思い出を一冊の文集にまとめました。 （内容：利用者の思い出【Ａ４一枚にまとめたもの】　各月の思い出写真、誕生児紹介、一年分の支援センターだより）
感想	・旧園舎で３年、出張ひろばで２年・・たくさんの出会いに支えられ子育ての土台作りができた貴重な時間でした。その日その日を乗り切るのが精一杯な時でもたんぽぽに来たらたくさんの笑顔があってたくさんの元気をもらいました。子どもたちの成長とともに悩みのタネも変わってくると思いますが、体に染みついたたんぽぽらしさ？笑があれば大丈夫！！とおおらかな気持ちになれます。これからも節目節目に遊びに行ったり、何かお手伝いできることがあったら遠慮なく言ってください。手作りの製本の気持ちのこもった文集ありがとうございました。